

次世代を担う青年農業者組織「DATEC」への活動活性化支援

県北農林事務所伊達農業普及所

1. 背景・ねらい

●背景

- ・高齢化等による担い手不足により産地が縮小傾向
- ・産地の維持発展のためには、新たな担い手の確保・育成が課題
⇒解決策のひとつとして、新規就農者確保や若手生産者を育成



DATECロゴ

●ねらい

新規就農者や若手生産者のスキルアップを図るため、青年農業者組織「DATEC (Date Agricultural Talking Enjoy Club)」の活動を活性化

2. 活動内容

●年間を通した活動支援

- ・夕方市及び定例会開催支援（毎月）
- ・SNSを活用したPR活動支援
- ・他クラブとの交流



イベント出店の様子

●消費拡大・販路確保支援

- ・首都圏や地元での直売イベントへの積極的な参加を誘導し、販売・PR活動を行うことで、県産品の消費拡大や販路拡大を支援
- ・消費者交流イベント「いちご狩り」開催を支援

●プロジェクト活動の支援

①相互経営研修

会員のは場を会場とし、お互いの経営について、会員が説明資料を作成し意見交換会を開催

②スマート農業技術導入研修

農研機構と連携し、会員は場への環境測定装置の導入を支援



装置導入のための研修の様子

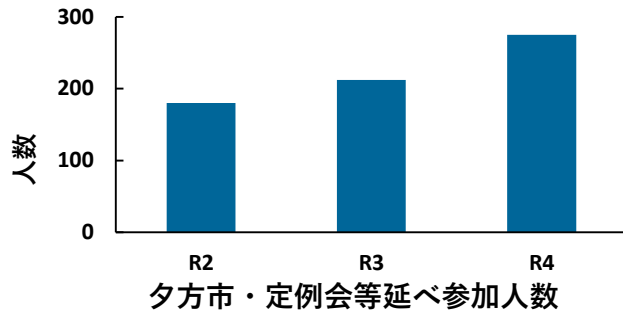
●新規会員確保支援

担い手育成チームと連携し、新規就農者や若手農業者にDATECの活動を紹介、加入を誘導

3. 活動成果

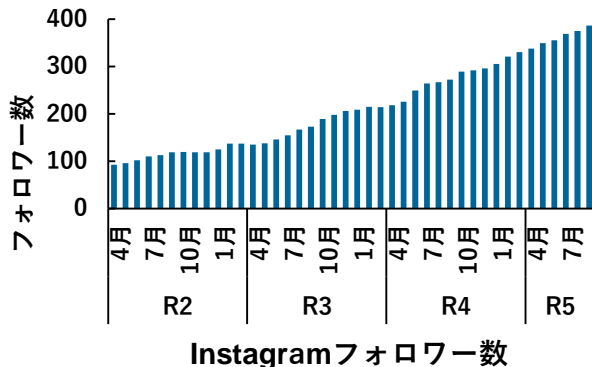
●夕方市・定例会等の参加者増加

会の活動が活性化したことで、夕方市や定例会、各種イベントの参加人数が増加



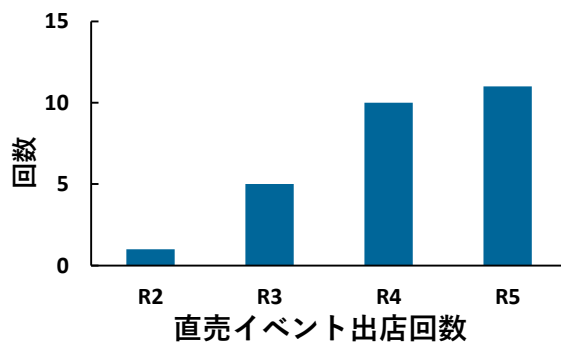
●Instagramフォロワー数が4倍に

DATECの活動を定期的にSNSで周知するよう誘導した結果、4年間でフォロワー数が約4倍に増加



●県内外のイベント出店回数増加

イベントへの参加誘導、事業を活用したイベント出店に係る経費の確保により、出店回数が大幅に増加



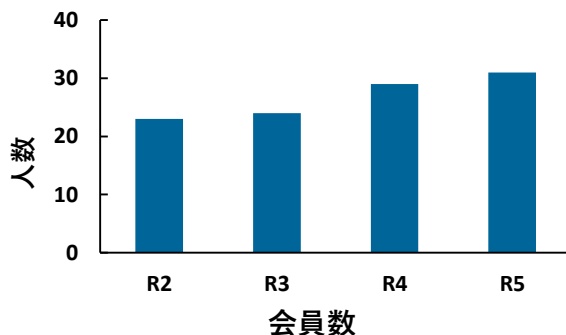
●会員のスキルアップ

①販売力の向上

イベント出店を通して、新たな販路拡大を実現する等、販売力が向上

②栽培管理技術の向上

農研機構と連携した支援により、会員3名が環境測定装置を導入し、データを活用した栽培管理を実施



●新規会員確保

新規就農者を中心に加入誘導をした結果、継続して新規会員を確保

4. 今後の展望

●継続的な活動支援

夕方市、定例会、各種イベントへの出店を支援し、会員の意欲を向上

●DATECによる担い手確保

県立高校の地域課題探究活動に協力できる地域人材として、登録済み今後、高校生と直接コミュニケーションを図ることによる高校生の就農意欲向上や農業関係進学者の増加 ⇒ 担い手確保対策

●DATECによる担い手の育成

DATECの活動を通して資質向上した会員を青年農業士や指導農業士に誘導 ⇒ 担い手の育成